

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員とその家族、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、賃金の引上げについて、事業環境や経済動向、当社の業績などを総合的に勘案しながら、適切な分配、還元を行ってまいります。人材投資については、階層別・目的別の各種研修や教育の実施を通じて、従業員のスキルアップを図っております。また、当社の目指す姿である「働きやすい、明るい会社」の実現に向け、「ニチアス幸せ価値指数」を制定し、毎年定量的に評価していくとともに、従業員の働きがいと生産性向上の両立を目的とした「NKK(ニチアス改善活動)」に引き続き取り組むことで問題解決できる人材の育成を図り、エンゲージメントの向上に繋げてまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【2023年4月1日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/25795-05-13-tokyo.pdf>】

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和5年4月27日

ニチアス株式会社
法人名

代表取締役社長 亀津 克己
役職・氏名（代表権を有する者）